



2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月8日

上場会社名 株式会社 SUMCO

上場取引所 東

コード番号 3436 URL <https://www.sumcosi.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 会長兼CEO (氏名) 橋本 眞幸

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 澁谷 博史

TEL 03-5444-3915

四半期報告書提出予定日 2019年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	82,103	6.2	19,816	1.2	19,085	4.4	13,133	2.9
2018年12月期第1四半期	77,289	28.4	19,590	142.8	18,275	231.3	12,766	253.3

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 16,239百万円 (102.0%) 2018年12月期第1四半期 8,038百万円 (13.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	44.78	
2018年12月期第1四半期	43.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	592,892	332,421	48.9
2018年12月期	588,250	325,545	48.4

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 289,678百万円 2018年12月期 284,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		30.00		32.00	62.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		25.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 現時点において、2019年12月期期末の1株当たり配当金については未定であります。

3. 2019年12月期 第2四半期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	158,100	0.6	34,300	16.7	33,000	17.7	23,600	16.2	80.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、翌四半期累計期間の業績予想を開示する方針としております。詳細は添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料7ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	293,285,539 株	2018年12月期	293,285,539 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	7,575 株	2018年12月期	7,575 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	293,277,964 株	2018年12月期1Q	293,278,136 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(配当についての特記事項)

現時点において、2019年12月期期末の1株当たり配当金については未定であります。当該予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2019年5月8日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報
 - (1) 経営成績に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 2
 - (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・ P. 2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記
 - (1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 3
 - (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・ P. 5
 - (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
 - (継続企業の前提に関する注記)・・・・・・・・ P. 7
 - (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)・・・・・・・・ P. 7
 - (会計方針の変更)・・・・・・・・ P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間における300mmシリコンウェーハは、スマホの販売台数減少やデータセンターの投資抑制等に伴う半導体市場の調整により、能力を上回る強い需要は沈静化しました。一方、200mm以下の小口径ウェーハは、自動車向けは堅調だったものの、産業・民生向け需要が軟化しました。

このような環境のもと、当社グループでは、「SUMCO ビジョン」に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により、顧客での高いプレゼンスを維持するとともに、価格適正化による損益の改善にも努めてまいりました。

なお、2017年8月に発表いたしました月産11万枚の300mm最先端半導体用高精度ウェーハの能力増強については計画通り進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高 82,103 百万円、営業利益 19,816 百万円、経常利益 19,085 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益 13,133 百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度第2四半期連結会計期間における世界の半導体用シリコンウェーハ市場は、車載向けは堅調なもの、最先端スマホの販売低迷やデータセンターの投資抑制による調整局面を想定しております。

このような市場環境のもと、当社グループでは、引き続き最先端技術開発の推進による製品の差別化を図ってまいります。また、中期的には今後も需給増が予想されることから、価格適正化を前提とした段階的な設備増強により顧客要求に応えてまいります。

なお、当社グループが属する半導体業界は事業環境が短期間に大きく変化するという特徴があり、通期の合理的な予想を行うことが困難であることから、翌四半期累計期間の連結業績予想を開示する方針としております。

以上にに基づき、2019年12月期第2四半期(累計)の連結業績予想について、下記の通り開示いたします。

2019年12月期 第2四半期 連結業績予想 (2019年1月1日～2019年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	158,100	34,300	33,000	23,600	80.47
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前年同期実績 (2018年12月期 第2四半期 連結累計期間)	159,023	41,192	40,092	28,151	95.99

(注1) 業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(注2) 2019年12月期 第2四半期(4月～6月)の為替前提は、1米ドル=111円としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,900	50,451
受取手形及び売掛金	64,979	66,114
有価証券	21,000	21,200
商品及び製品	15,562	16,914
仕掛品	18,812	18,642
原材料及び貯蔵品	153,145	153,023
その他	8,483	9,446
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	339,872	335,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	72,316	72,865
機械装置及び運搬具(純額)	63,335	75,004
土地	20,314	20,313
建設仮勘定	22,597	19,869
その他(純額)	1,073	1,606
有形固定資産合計	179,636	189,658
無形固定資産		
のれん	5,187	4,781
その他	6,342	6,803
無形固定資産合計	11,529	11,584
投資その他の資産		
投資有価証券	102	102
長期前渡金	38,153	37,513
繰延税金資産	15,130	14,166
その他	4,109	4,370
貸倒引当金	△284	△284
投資その他の資産合計	57,212	55,868
固定資産合計	248,378	257,110
資産合計	588,250	592,892

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,932	28,699
短期借入金	33,107	26,566
リース債務	1,022	1,014
未払法人税等	6,493	4,681
引当金	2,043	3,820
その他	43,117	40,763
流動負債合計	113,716	105,546
固定負債		
長期借入金	118,598	124,924
リース債務	643	577
退職給付に係る負債	24,939	24,422
その他	4,807	5,001
固定負債合計	148,988	154,925
負債合計	262,704	260,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	138,718	138,718
資本剰余金	30,763	30,763
利益剰余金	117,812	121,581
自己株式	△12	△12
株主資本合計	287,282	291,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	△0	4
土地再評価差額金	2,885	2,885
為替換算調整勘定	△1,227	△1,304
退職給付に係る調整累計額	△3,944	△2,960
その他の包括利益累計額合計	△2,285	△1,373
非支配株主持分	40,548	42,742
純資産合計	325,545	332,421
負債純資産合計	588,250	592,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	77,289	82,103
売上原価	50,742	55,270
売上総利益	26,547	26,832
販売費及び一般管理費	6,956	7,016
営業利益	19,590	19,816
営業外収益		
受取利息	100	221
その他	25	21
営業外収益合計	126	243
営業外費用		
支払利息	429	283
シンジケートローン手数料	—	360
為替差損	485	184
その他	527	145
営業外費用合計	1,441	973
経常利益	18,275	19,085
税金等調整前四半期純利益	18,275	19,085
法人税等	2,970	3,671
四半期純利益	15,304	15,414
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,538	2,281
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,766	13,133

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	15,304	15,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	0	5
為替換算調整勘定	△4,917	△173
退職給付に係る調整額	△2,349	993
その他の包括利益合計	△7,266	825
四半期包括利益	8,038	16,239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,091	14,045
非支配株主に係る四半期包括利益	946	2,194

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

1. 米国会計基準を採用している在外子会社において、「顧客との契約から生じる収益」(ASC 第 606 号)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。

これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しております。

当該会計基準の適用については、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用し、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の利益剰余金の期首残高は27百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間に与える損益影響は軽微であります。

2. IFRSを採用している在外子会社において、「リース」(IFRS 第16号)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。

これにより、原則としてすべてのリースについて、原資産を使用する権利を表す使用権資産とリース料を支払う義務を表すリース負債を認識しております。使用権資産とリース負債を認識した後は、使用権資産の減価償却費及びリース負債に係る金利費用が計上されます。

なお、四半期連結貸借対照表において、使用権資産は有形固定資産のその他に、リース負債はリース債務に含めて表示しております。

当該会計基準の適用については、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用し、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の利益剰余金の期首残高は6百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間に与える損益影響は軽微であります。

以上